

わたしから始める、世界が変わる

Hunger Zero News

2021. No.367 ²

ハンガーゼロ・ニュース

1分間に17人 (内12人が子ども)
1日に2万5,000人が
1年間では約1,000万人が
飢えのために生命を失っています

特集 *Child* Supporter
チャイルドサポーター

Contents

「つながる人と人の輪」	P.2
コロナ禍で闘う人々を支えて	P.3
子どもたちの希望になろう! チャイルドサポーター支援国の活動	P.4-5
家族の Story フィリピンのカイル君	P.6
チャイルドサポーターの広場	P.7



手を洗う子どもたち (カンボジア)

チャイルドサポーター (CS) の活動は、子どもが子どもらしく健やかに成長できるような地域づくりを、現地の国際飢餓対策機構 (FH) と推進している活動です。

私たちが目指すゴールは、支援地域が貧困から「卒業」することです。「卒業」は、新たな出発、門出の時です。地域が貧困から卒業し、外部の支援を必要とすることなく自らの力で進み出す瞬間を共に喜び祝う時でもあります。

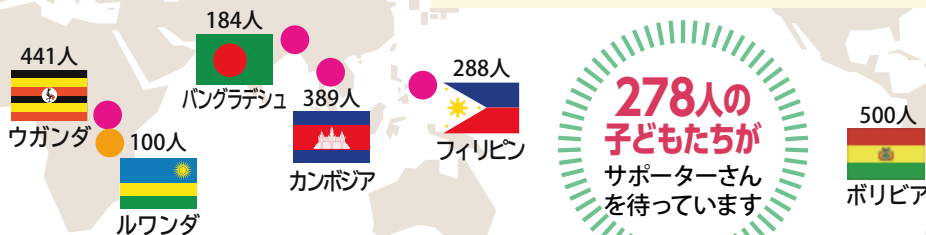
現地では国際飢餓対策機構のスタッフが支援地域の人々と密接に関わり合いながら、住民主体型の様々な活動を実施しています。一つの支援地域が「卒業」を迎えるまで、その道りは平坦ではありませんが、私たちは10年という目標を掲げて地域が卒業できることを目指しています。もちろん地域や国によってその期間が早まったり遅れたりすることもあります。この道りを共に歩んでくださるサポーターの皆様の応援とご支援なしには、活動そのものを続けることはできません。



現地の子どもたちが当たり前のように学校に行けることを私たちは願いますが、様々な弊害があります。学校に行かせないで家族を支えるために農業を優先させている保護者には、教育の大切さを伝えなければなりません。また、学用品や教育支援を保護者が賄っていただけるように、生計向上のための活動も必要となります。子どもたちの健康状態が悪ければ勉強に集中するどころか、学校に行く元気も出ません。そのため保健活動を通して、保護者が家族に健康的な食事作りを提供できるように野菜などの栽培のノウハウを伝えます。不衛生な環境で生活をしている子どもたちは病気になるやすいので、手を洗う習慣を身に付けるほか、これまでの風習を変えていく取り組みも必要となります。現地スタッフはよき隣人として励まし続けています。

このように、人と人とのつながりなくしてはこの活動の目指すゴールに行きつくことはできません。「サポーターの皆さま」、「国内外のワーカー」、「チャイルド・家族・地域」とのつながりがこれを可能にしていきます。この働きに一人でも多くの方々がつながってくださることを心から願っています。

サポートチャイルド 1,902人 (2021年1月現在)



278人の子どもたちがサポーターさんを待っています



Child Supporter チャイルドサポーター

子どもを支援する

支援地域の特定の子どもとつながり、地域で行われる活動をご支援いただけます。あなたと出会い、応援を受ける子どもは自分が愛される大切な存在であることに希望を抱き、地域を変えるひとりへと成長していきます。

月々4,000円

子ども1人を支援することができます。

2つの支援方法

活動を支援する

子どもたちが暮らす地域で行われる様々な活動をご支援いただけます。地域に住む人々がそれぞれの役割を果たし、子どもを取り巻く環境の改善と質の向上を目指します。

1,000円～

月々または自由なタイミングで支援できます。



登録はこちら▶



詳しくはウェブサイトへ



コロナ禍と闘う人々を支えて

ウガンダ：人権教育で家庭内暴力を大幅に軽減

コロナ感染を防止すると共に、増加している女性と女兒に対する暴力に対応するため、教師を含む地区のリーダーやソーシャルワーカー、女性リーダーが人権について学び、保護者に伝達することで暴力の発生件数の70%軽減につながりました。またラジオ番組と地域の巡回を通して、人々はコロナの感染リスク、症状、コロナと他のウィルスの違いについて、また予防対策、自宅で発症した人の看護方法、隔離期間、症状が深刻化した時の対応などについて理解しました。

バングラデシュ：3万人の人々に予防方を啓発

多くの地区が閉鎖され地区間の移動も厳しく制限、市場も閉鎖されました。その結果、大多数が日雇いの労働者として生活をつないでいたので収入源が断たれて、通常の生活ができなくなりました。マチュパラで「コロナ支援プロジェクト」を開始し、コロナ予防啓発のメッセージや音声クリップをバイクを使ってスピーカーで拡散しました。これは村の中の遠隔地でも行う予定です。約3万人の人々が予防方について聞くことができ、意識向上に効果的でした。またチラシ1,000枚を配布、4つの看板でコロナ感染予防方を伝えました。

ボリビア：緊急支援物資配布や疾病の情報提供

[アサワニ] コロナ禍で通信環境がまだ整っていない村々に、工夫をして出来るだけ多くの人々と携帯電話などで話し合いをしました。人々はこれまでの衛生習慣の学びを通して、手洗いの実践の重要性についての知識を深めています。また栄養価の高い食べ物で免疫強化を図っています。167家族が緊急支援物資を受け取り、生きる希望が与えられました。配給された物は小麦粉、麺、とうもろこし、米、油、砂糖などの食品と感染防護品、感染防止に関するパンフレット、新約聖書、聖書学習のための雑誌です。

[リオカイネ] 不十分な保健設備や医療従事者の安全面の懸念、医薬品の欠如、孤立した場所があること、ベッドや人工呼吸器の数に限りがあることなどが課題です。また地域の医療従事者が恐怖を感じ、患者のケアが十分できなかったり、市から医療従事者に防護用品が十分に与えられていなかったりしています。田舎の地域では人々がそれぞれ薬やハーブ茶などを飲み、ユーカリやカモミールの蒸気を吸って対策を取っていました。コロナに関する情報提供や、マスクの着用を促し、石鹼と水、

あるいは消毒剤で手を洗う、握手を避ける、挨拶で頬にキスをしない、身体的距離を空けるなどを実行するように伝えました。

カンボジア：物資配布、子どもたちのストレス軽減

FHは最貧世帯28世帯(130人)に食料を配給し、また彼らが自宅で野菜を栽培するように奨励、堆肥を使った技術を伝えました。地元関係者や地域の保健センターにマスクやアルコールなどを提供しました。6つの地域の政府機関に、消毒用アルコール300ℓとフェイスマスク30箱を提供しました。

学校のクラスがオンラインに移行したことにより、子どもや若者はストレスを経験しました。保護者に子どもたちのストレス軽減の方法、コロナについての説明の仕方、子どもたちとの時間の過ごし方、遊び時間の持ち方や興味を引く活動の取り組みについての訓練会を実施しました。子どもたちには、コロナについての絵本を配布しました。若者たちもウィルス感染を防ぐ方法を学びました。トレーニングを受けた30人の若者たちがまず近所の子どもたちや家族などに学んだことを伝えています。

フィリピン：情報提供で地域住民の意識を向上

地域隔離と移動の制限の影響を受け、SNSなどを通して視覚資料を配布し、地域の人々の意識を高めました。コロナに関する情報、感染した際の症状、感染の広がり方、予防と治療方法とフェイスマスク、消毒剤、石鹼の使用について伝えました。都市封鎖によって仕事もできない人々は、政府や他の支援がない中で生活をしていました。FH フィリピンはスラで58家族に、マトノグで242家族に5kgの米とイワシ缶詰5缶を5月に配布しました。

ルワンダ：栄養不足の子どもや妊婦に食料配布

コロナ感染防止対策によって影響を受けた人々に対して、食料と衛生用品を支援、豆1,500kg、トウモロコシの粉2,500kg、石鹼1,000個をルハンゴ地区の行政局を通して支給しました。最もコロナの影響を受けているのは子どもたちと女性、特に妊娠中の女性たちです。FHは子どもと妊婦の栄養不足の進行を防ぐために、危険性の高い231家族には追加の食料を、さらにすでに栄養が不足している子どもと妊婦には、おかゆ用ソノマ粉(大変栄養価の高い粉)を480kg追加しました。また貧困家庭にはトウモロコシの粉1,565kgと豆625kgを配布、配布を手伝うFHのボランティアとコミュニティの人々にマスクを4,800枚と手洗い用石鹼1134個を支給しました。



コロナ感染から守る「緊急救援募金」に応援をお願いします

募金は、郵便振替又はウェブサイトからクレジットカード決済が利用できます。
ウェブサイト <https://www.jifh.org> ※ハンガーゼロで検索又は右QRコードから
郵便振替 00170-9-68590 日本国際飢餓対策機構 ※記入欄に「緊急救援募金」と明記
募金集計：12月29日現在で約897万円、皆さまの応援を心より感謝いたします。



スマホから募金ページに

活動を支援する



ディスカッションのトレーニングを受ける子どもたち (カンボジア)

食料

【ボリビア】

● アサワニ

FHはこれまで活動の参加者たちに、継続して保健や栄養についての訓練会を行ってきましたが、その結果として、自分の息子や娘に栄養のある物を食べさせるために15家族が温室の建設を行うことを決めました。同様に、17家族が産卵鶏の飼育を実施しました。子どもの栄養の改善を親たちも非常に期待しています。

● リオカイネ

人々は新鮮な野菜やじゃがいも、果物、卵を生産することができるように、有機栽培や小動物の飼育を行っていま



す。小動物とは、魚と採卵鶏のことで、家族に新鮮な肉を提供すると同時に卵を採取できます。

【フィリピン】

コロナで地域隔離の中、FHの活動に参加しているメンバーは、食料を確保するために野菜を植える重要性を再認識しました。スラとマトノグの地域は農業を主要な収入源としていますが、地域隔離の中で、農業が家族の食料安全保障となり、スラにおいては漁業も食料を確保するための持続可能な源となりました。またFHのスタッフは家庭菜園についての情報を、電話やオンライン会議を通して、計36人の貯蓄グループメンバーに紹介しました。それにより多くのメンバーが栄養価の高い食べ物を摂るために野菜を植えたと話しています。さらにスタッフは魚、米、卵の殻などを用いた肥料の作り方も紹介しました。

収入

【ウガンダ】

グループメンバーが液体石鹼や固形石鹼の作り方を学びました。家庭での使用以外に、販売もしています。順調に運営をしているのでスタッフの介入はほとんど必要なくなりました。

【ルワンダ】

青年たちが、収入を得る手段の一つとして、ガシャルでは若者が集まってグループを結成し、石鹼を作ることを始めました。アイデアを生み出し、ビジネスプランを立て、市場評価や調査を行うための訓練も受けました。

農業

【ウガンダ】

農業グループのメンバーがさつまいもの茎やカボチャ、玉ねぎ、ナス、キャベツなどの種子を受け取りました。メンバーの92%が家庭菜園ですでに野菜を収穫しています。この活動は、栄養失調を減らし野菜の一部を市場に売ることによって世帯の収入と貯蓄を増やす良い成果を生み出しています。

【カンボジア】

農業グループのメンバーが身につけた技術は、このコロナ禍の中で家族への食料供給のために役立ちました。このコロナ禍がもたらすプラスの影響があるとすれば、それは



家庭菜園や動物の飼育を子どもたちと一緒にして、家族の絆を深める機会となったことです。

「チャイルドサポーター」では子どもたちを取り巻く家族、地域が貧困から抜け出すことができるように支援をしています。
 ※支援方法は「活動を支援する」と「子どもを支援する」の2つがあります。P.2にご案内

【ルワンダ】

農業従事者は種を植え付ける際の最適な密度や、土を覆うビニールシートの使用方法について学びました。また農業と林業を組み合わせた方法を実践するために、グレビレアの木と作物の間作を行うことになりました。生産力を高めるために433人の農業従事者に種子としてインゲン豆



880kgと大豆420kgが配布されました。さらに、84人の小規模農家にはじょうろ、くわ、手押し車、シャベル、つるはしなどの農業用具が支給されました。また、577世帯には13,720本の苗木が提供されました。

家畜

【フィリピン】

ヤギ飼育プロジェクトでマトノグの7名が9頭の母ヤギと19頭の子やぎを飼育しています。2020年4月から9月にかけて2人のヤギ飼育者が3頭の子やぎを販売することができました。ヤギの健康管理やヤギ小屋の管理など飼育を助けるために定期的なフォローアップが行われました。飼育者たちはヤギを別の受益者に引き渡す予定です。



【ルワンダ】

75世帯が家畜の管理について学び、豚50頭と山羊25頭が配布されました。その家畜によって参加者は肥えた土地を作るために肥料を作り、それによって作物の生産量の改善を行います。また家畜を繁殖させることにより、それを販売して家族の収入を得る取り組みも行います。

教育

【バングラデシュ】

学校が長期間閉鎖されて保護者が子どもたちの学習を心配しているため、FHは家庭で子どもたちの学習活動を継続できるように保護者向けに包括的な手引書を作成しました。この自宅学習の手引書は活動に関わっているすべての保護者に喜ばれています。

【ボリビア】

新型コロナで昨年2月は短縮授業、3月は2週間の開校でした。その後はオンライン授業になり、農村部では通信機器やインターネット環境が整っていなかったため困



難を期しました。活動地に入れなくなったのでスタッフは電話やインターネットを通じて保護者と連絡を取りながら、子どもたちが正しく読み書きができるように、また読書を奨励することを保護者に伝えました。また子どもへの心理的また身体的虐待の事例が発生していたため、このような話題にも焦点を合わせて保護者と話し合う時を持ちました。

【カンボジア】

子どもたちは、将来のためにリーダーシップ能力の向上、貯蓄、小規模ビジネスの勉強、識字や計算能力など身につけられるよう学んでいます。子どもクラブには、子どもたちの読書習慣を定着させ、読み書きの能力向上のための本があり、ボランティアたちは、読み聞かせをしたりフラッシュカードで子どもたちの計算能力を向上させたりしています。

【フィリピン】

2020年4月から9月にかけて、遠隔からSNSを通して教育に関する情報を保護者や子どもたちに伝えました。コロナの影響で、大規模な集会を開くことができなかつたため、情報を視覚化した資料の配布、携帯電話での連絡、オンライン会議やトレーニングを行いました。

備蓄をしながら社会貢献



世界にパンを届けよう

救缶鳥
Kyu-Can-Cho

皆様から回収された救缶鳥は各地に飛んでいきました！



食料が不足している、国内外の豪雨・地震等の災害被災地や、海外の飢餓地域等へ送られました。



おいしさと夢をお届けします。

株式会社パン・アキモト

パンの缶詰
since 1995

〒329-3147
栃木県那須塩原市東小屋295-4
TEL 0287-65-3351

パン・アキモト

家族の
Story
ストーリー

いつか警察官になりたいという18歳のカイル・クリスチャン君は前向きで友好的、親しみやすくユーモアのセンスがある青年です。幼い頃父親を亡くし、母親には別の家族がいるために自分を育ててくれた祖父母に対して責任を感じています。フィリピン・ビコール地方のマトノグ地区で祖父母と他の5人の兄弟たちと暮らしています。



■ フィリピン

コロナ禍でも前を向き続けるカイル・クリスチャン君

祖父母の愛にお返しをしたい

彼が今年経験した大きなチャレンジは、コロナによってもたらされた生活の変化でした。祖父母は移動制限のために職を失い、家族を養うために悪戦苦闘していました。

8月に授業が再開されるまで、カイルは仕事をもう1つ増やすことを決意しました。建設労働者として1日あたり100ペソで1カ月間働き、家族の食料と学用品を購入しました。「状況の変化に対応する知恵が与えられ、困難に会っても心が折れることなく柔軟に生き延びる力を与えられました」と言っています。

祖父母はすでに70代、カイルは自分の教育を支援し、また必要を満たしてくれている祖父母の健康を気遣っています。彼は祖父母から与えられた良いもの



をお返ししたい、という決意を持っています。「祖父母は僕の力の源です。僕は祖父母と仲が良く、母も時々僕に連絡してくれます。母が僕以外に新しい家族を持っていることを悪くは思っていない。祖父母は僕に、人生で多くの問題があってもいつも感謝し、いつも笑顔でいるように教えてくれました」と語っています。

カイルは12年生。(高校3年生) 単位取得型学習を選択して毎週先生から提供される単元を読んで勉強、日中働き夜勉強を続ける予定です。少しでも祖父母を助けたいからです。

彼はかつてハンガーゼロ主催の絵画コンテストに創造的な作品を出展しました。また学校のレスリング大会の選手として出場、金メダルを獲得しました。彼は2012年からFHフィリピンの支援チャイルドとなり、キャンプやスポーツ大会などのイベントには、友人やFHの支援を受けているメンバーと一緒に参加しています。

FHは僕の成長を助けてくれています

「僕はFHから良い価値観について学び、神様のことをより深く理解することができました。又それは、僕がより心を開いて友好的になるのにも役立っています。以前は自分のことしか考えていませんでしたが、今は祖父母の苦しみがわかり助けたいと思えるようになりました。又何かが必要なときは祖父母にお願いしていたのですが、今はそのために自分が働かなければならないことに気づきました。以前はただ流れに沿って勉強していただけでしたが、今は自分の成績を上げることができるよう、真剣に取り組んでいきたいと思っています。学校、友だち、家族、そしてFHは、僕がより良く成長するのを助けてくれています。」

FH= 国際飢餓対策機構



私たちロングライフグループは、
ハンガーゼロの活動を応援しています。

ロングライフは1986年の創業よりケアサービスひと筋。全国に展開しています。

Health & Natural Beauty
ロングライフグループ 0120-550-294 受付時間 9:00~18:00 年中無休
大阪本社 / 〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階 東京本社 / 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階
ロングライフグループ拠点: 北海道 / 埼玉 / 東京 / 神奈川 / 千葉 / 静岡 / 愛知 / 大阪 / 兵庫 / 京都 / 大分 / 沖縄 / 中国 (青島) / 韓国 / インドネシア (ジャカルタ)



● やすたにくみこ 安谷久美子さん ●

嬉しかった!地域の自立の知らせ

2002年12月にチャイルドサポーターになり、はや18年になります。当時3人の子どもを帝王切開で出産した為、これ以上の妊娠は母体に危険だということでした。

私自身は6人兄弟だったので、6人子どもが与えられるのを期待していたのですが、もうこれ以上望めないなら、サポーターになりたいと考えました。とても単純な発想ですね。

3人の子育てと、年長いた父親の事で手一杯でしたので実際に里子を引き取るというのは物理的に無理でした。その頃は仕事もして金銭的には余裕があったので、次の選択肢として飢餓対策機構の世界里親会(現チャイルドサポーター)



安谷久美子さんご家族

子どもを支援する

に申し込みをしました。

最初のチャイルドはウガンダの女の子で、長女より4歳年上でした。里子の写真を家族で見えて一緒にこの子のために祈ったりしていました。子どもたちがどのように思ったかは分かりませんが、おそらく自分たちがどれ程恵まれた環境で暮らしているのか、感じていたと思います。

誕生日やクリスマスに特に高価なものをねだることもなく、親戚から頂いたお年玉はできるだけ使わずに貯金をしていました。

2008年にウガンダの支援完了の報告が届いたときは、地域が自立する事ができたという素晴らしいニュースに感動しました。少し寂しい気持ちはあるのですが、自立できたという喜びは親として本当に嬉しいです。その後はフィリピンの女の子、今はボリビアの男の子を支援しています。現地スタッフの献身的な活動に感動し、もっともっと支援していきたいと考えています。

● やざわゆうと 谷澤悠人さん ●

チャイルドの手紙で世界に目を向ける

以前からチャイルドサポーターには興味を持っていましたが、一步踏み出すことが出来ずにいました。

しかし息子が生まれる際に、この子には、自分のことだけでなく他の人のことも、日本のことだけでなく世界のことも考えることができる人になってほしいと思うようになりました。そのためには、まず親である自分自身が、他の人のためにできることをしようと思い、支援を始めさせていただきました。

私が支援をし、手紙のやりとりをしているのはカンボジアに住む5歳の男の子です。彼が手紙の中で書いてくれる些細なこと、例えば彼の家にはグアバやマンゴー、パパイヤの木があり、鶏やアヒルを飼育しているといったこと等から、彼や村の人々の生活に思い馳せることがあります。日々の忙しさの中で、自分や家族のことで頭がいっぱいに

※チャイルドを支援してくださっているサポーターさんの声をCS事務局までお寄せください。紙面やホームページでご紹介させていただくこともあります。

なってしまうことが多い私にとって、チャイルドサポーターとして支援を行うことは、一時自分自身から焦点を外し、世界に目を向け、そこに住む人々を想う良い契機になっていると感じています。



お知らせ **WEB開催 [無料]** 申し込みはこちら

2/9 火 締切 2/6

昼の部 1:30~3P.M.
夜の部 8~9:30P.M.

報告 / ボリビア駐在小西小百合ほか

Zoomでどなたでも参加できるサポーター交流会

お問合せ 03-3518-0781
tokyo@jiffh.org

Child Supporter
チャイルドサポーター

支援を通じて…
子どもと喜びを
分かち合えます

「子どもを支援する」チャイルドサポーターになると…成長記録、現地の活動報告、クリスマスカードが届きます。また、子どもたちとの手紙のやりとりを通して、交流することができます。例えば、住んでいる地域のことや、好きな勉強や食べ物、将来の夢などを知ること、子どもをより理解することができます。また子どもたちからの質問もあります。



支援のお申込みは、ウェブサイト又はお電話でCS事務局へ 直通TEL072-920-2226

ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、18か国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころからだの飢餓」に応える活動をしています。



募金にもなる 「チョコレートセット」 プレゼント用にいかがですか

フェアトレードチョコレート2個
セットで1千円(送料180円とハン
ガーゼロへの募金60円含む)

チョコレートの種類はおまかせ
となります。プレゼント用には簡
易ラッピングでお届けしますので
お申し込み時にお知らせ下さい。
また、チョコレート2個以上ご希望
の場合はお問い合わせください。
※チョコレートが無く



なり次第終了させていただきます。
【お支払い】後払い
お申し込み:(株)キングダムビジネス
スマートフォンは上記QRコードから
電話注文:06-6755-4877
FAX 注文:06-6755-4888

書き損じ「年賀はがき」で協力

書き損じた「年
賀状」やポストに未
投函のもの(書き
込み、汚れのある
もの、私製ハガキ
は不可)、また消印
のない「未使用切手」がありまし
たら、大阪事務所までお送りく
ださい。国内外の通信に用いさ
せていただいています。



楽しく学べるコンテンツが増えてます!
ハンガーゼロ
YouTube
チャンネルに
登録ください
hungerzero 検索

各種手続きにお時間を いただいております

当機構各事務所では全国的な
コロナウィルスの感染拡大対策と
して、昨年末から一部テレワーク
を実施しています。このため、支
援者の皆様への電話対応・領収
証の発行・支援申し込み手続きな
どで、通常よりお時間をいただ
いております。また、1月に東京・愛
知・大阪など11都府県で「緊急
事態宣言」が発令(期間2月7日ま
で)されましたのでそれに合わせ
てテレワークを延長させていただ
く場合もございます。

ご理解のほどお願い申し上げ
ます。なお急ぎのご用件は、お
電話でご相談ください。(事務局)

★T-PONT 募金が100万ポイント(円)を超えました! ご支援を感謝いたします。

ハンガーゼロの LINE を開設!!

登録者
拡大中

より幅広く多くの方々に情報をお届けできるよう
に、ハンガーゼロの LINE を新たに開設しました。

見逃せないイベント情報や、世界の状況などをわ
かりやすく発信していきますので、是非お友だち登録
よろしくお祈りします!

拡散・シェアもどんどんしてい
ただけると嬉しいです。

ご登録は右のQRコードまたは
IDから @hungerzero で検索。



※記入後にスマホで撮影し、下記メールアドレスにお送り頂いても受付いたします。

サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

氏名	
(TEL)	
住所	〒
申込日	年 月 日 NL 367号

<input checked="" type="checkbox"/>	下記から希望されるものをお申し込みください
<input type="checkbox"/>	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月()円 □(1000円) ②一時募金として 円協力します。
<input type="checkbox"/>	継続募金(JIFH サポーター)として協力します。 毎月()円 □(500円)
<input type="checkbox"/>	チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の 説明書(申込書)を送ってください。
<input type="checkbox"/>	郵便自動引落とし申込書を送って下さい。
<input type="checkbox"/>	その他の銀行自動引落とし申込書を送って下さい。

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて
大阪事務所までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせ
ていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero サポーター 現在...49420

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>
eメールアドレス general@jifh.org
フェイスブック facebook でハンガーゼロで検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイトで
①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1
(広島) TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1 OCCビル 517号室
(東北) TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町 2-3 YWCAビル 6F
TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132
沖縄 〒900-0033 那覇市久米 2-25-8 メソソク米 202号
TEL (098)943-9215 FAX (098)943-9216
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605
TEL (510)568-4939 FAX (510)293-0940



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター